

協議事項(1) 校章デザインの選定について

総務部会での投票結果および子ども達のアンケート結果を参考に各学校の校章デザインの最終選定をおこなう。

総務部会	1次投票	校章デザイン選定基準を参考に、事前投票にて選定されたデザイン案から各校それぞれ2案を投票し、上位10案を選定する ・有権者は当日出席した委員及び事前投票時に委託された受託者 ・選定した2案にシールを貼る（学校ごとに色が違うので注意）	11/20 第6回 総務部会
	2次投票	各委員のご意見(推薦したいデザインについての想いや理由など)を聴き、1次投票で選定された10案から各学校それぞれ1案を投票し、上位6案を選定する ・有権者は当日出席した委員 ・得票数により2次投票での順位を決定 ⇒ 順位は未決定とした ・1位が同数の場合は当該作品で再投票 ・投票用紙に選定した1案の作品番号を記入	
児童・生徒	アンケート	2次投票で選定された6案を対象に小学校5年生から中学校3年生にアンケートを実施 ・アンケートは任意 ・2次投票で選定した6案から良いと思う1案を選ぶ ・著作権保護のため学校配布タブレットより投票フォームに入力	12/2～15
総務部会	最終選定	児童生徒のアンケート結果を参考に総務部会で最終選定を実施 ・1位は最優秀賞(採用作品)、2位から6位は優秀賞 ・優秀賞は5点以内としている為2位から6位を優秀賞とするかの協議をおこなう	1月15日 第7回 総務部会
協議会	議決	総務部会で決定した最優秀賞(採用作品)を協議会に諮る：議事	1/20～24 第6回協議会

*協議会の協議結果は教育委員会へ報告され、教育委員は協議会で決定された各校の校章デザインについて協議し最終決定する

【校章デザイン選定基準】

- ・児童生徒や住民が誇りをもち、将来にわたり使用できるもの
- ・各学校がめざす姿をあらわす校章としてのふさわしさ
- ・様々な用途での活用のしやすさ、わかりやすさ
- ・印刷物などでモノクロでの使用や拡大縮小を想定した使用しやすさ

▶校章の使用例

- ・校舎建造物、校旗、体育館の緞帳
- ・印刷物（卒業証書、式典パンフレット、封筒類、教職員が業務で使用する名刺等）
- ・標準服の識別バッチへの使用を検討中

協議事項(2) 豊前中学校の校歌について

協議会(全体会)において中学校の校歌については総務部会での再協議となった。豊前中学校の校歌を旧築上中部高校の校歌とする事について再協議し、再度、中学校の校歌について総務部会の意見を決定する。

【全体会でのご意見】

- ・昔の方の想いを受け継ぐことは大事なことだが、「純情一路」等の歌詞は今の中学生に歌わせるのは少し時代に合っていない
- ・新しく制作する小学校と中学校の校歌に差が出すぎてしまう
- ・今までの大人の想いもあるが、これからの豊前を支える子どもたちが主役であるので、もう一度、見直した方がいい。
- ・歌詞が今の風潮に合っているか、言葉が正しいか、専門的な人に意見を伺った上で諮った方がいい。

事務局:人権男女共同参画室にて歌詞が今の風潮に合っているか、言葉が正しいかを確認。人権・男女共同参画の観点からは問題ない。

【第6回部会でのご意見】

- ・言葉の感じ方は人それぞれ、中部高校の校歌を使用してもいいと思う。
- ・全員がいいと思う意見は出るものではない。
- ・全体会では自分の子どもがこの歌詞で校歌を歌っているところがイメージできないと言っていた。保護者の世代でそう感じるくらいなので、私たちが持っている校歌のイメージはもう今の時代とだいぶ変わってきている印象を感じた。その保護者の子どもからしたら尚更そう感じるのでは。校歌感が時代として変わってきている。
- ・小学校はフレーズを募集するから今風な言葉選びになると思うので、その中で豊前中だけが中部高校の校歌となると時代を感じるころはあると思う。
- ・今風の校歌とする歌詞の一部変更や編曲も考えられるが、それは難しいと思う。

事務局:歌詞の一部変更は考えていない。そのようなご意見となった場合は新しく作る方向で検討していただきたい。